

## 2) 衛生グループ

衛生グループでは、和歌山県食品衛生監視指導計画に基づき、県内で製造又は販売されている食品等について、残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の検査および調査研究を実施している。また、その他に、家庭用品検査、医薬品等の検査、飲料水の検査等を行っている。

### (1) 行政検査

令和4年度に行った食品、医薬品等の行政検査は486検体（延検査項目数34,296）で、その内容は表2-1のとおりであった。

表2-1. 行政検査

区 分	内 容	検体数	延検査数
食品・生活衛生課	食品関係		
	食品添加物検査（過酸化水素、ソルビン酸等）	188	1,448
	残留農薬検査（農産物中の有機リン系農薬等）	118	29,408
	残留動物用医薬品検査（畜水産物中の合成抗菌剤等）	110	3,130
	鯨類等のメチル水銀調査	10	10
	おもちゃ検査（乳幼児用おもちゃの鉛、カドミウム）	14	28
	衛生関係苦情処理	0	0
	家庭用品関係		
家庭用品検査（乳幼児用衣類中のホルムアルデヒド）	17	17	
水質関係			
	飲用水試験（井戸水の水質検査）	28	252
薬 務 課	医薬品等検査（定量試験等）	1	3
	計	486	34,296

#### a) 食品関係

##### (a) 食品添加物検査（表2-2）

##### i) 殺菌料（過酸化水素）

釜揚げしらす6検体について過酸化水素の定量試験を行った。

その結果、6検体から過酸化水素（0.3～0.9 mg/kg）を検出したが、いずれも使用基準値以下であった。

また、釜揚げしらす32検体について、当センターで作成・配付した過酸化水素試験キットを用いて食品衛生監視員が簡易試験を実施した結果、いずれの検体からも過酸化水素は検出されなかった。

##### ii) 保存料（ソルビン酸、安息香酸、デヒドロ酢酸、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸イソプロピル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸イソブチル、パラオキシ安息香酸メチル）

食肉製品、魚肉ハム・ソーセージ、みそ、しょうゆ、ジャム、漬物、菓子合計60検体について、延べ460項目の定量試験を行った。

その結果、食肉製品4検体、みそ1検体、ジャム1検体、漬物4検体からソルビン酸（0.37～0.92 g/kg）を、しょうゆ2検体からパラオキシ安息香酸エステル類（パラオキシ安息香酸ブチル）（0.03, 0.03 g/kg）を検出したが、いずれも使用基準値以下であった。

また、漬物（梅干し）1検体から検出した安息香酸（0.01 g/kg）は天然由来のものと判断した。なお、他の保存料についてはすべて定量下限値未満であった。

表2-2. 食品添加物検査

	項目名	品名	検体数	検出数	検出値
殺菌料	過酸化水素 (g/kg)	釜揚げしらす	6	6	0.0003~0.0009
	過酸化水素 (簡易試験)	釜揚げしらす	32	0	
保存料	ソルビン酸 (g/kg)	食肉製品	7	4	0.78~0.92
		魚肉ハム・ソーセージ	3	0	
		みそ	5	1	0.72
		しょうゆ	5	0	
		ジャム	5	1	0.54
		漬物	20	4	0.37~0.57
	菓子	15	0		
	安息香酸 (g/kg)	みそ	5	0	
		しょうゆ	5	0	
		ジャム	5	0	
漬物		20	1	0.01	
菓子	15	0			
デヒドロ酢酸 (g/kg)	みそ	5	0		
	しょうゆ	5	0		
	ジャム	5	0		
	漬物	20	0		
菓子	15	0			
パラオキシ安息香酸エステル類 (g/kg)	みそ	5	0		
	しょうゆ	5	2	0.03, 0.03	
	ジャム	5	0		
	漬物	20	0		
	菓子	15	0		
	パラオキシ安息香酸イソブチル パラオキシ安息香酸ブチル パラオキシ安息香酸イソブチル パラオキシ安息香酸ブチル パラオキシ安息香酸イソブチル				
パラオキシ安息香酸メチル (g/kg)	みそ	5	0		
	しょうゆ	5	0		
	ジャム	5	0		
	漬物	20	0		
	菓子	15	0		
発色剤	亜硝酸根 (g/kg)	食肉製品	7	6	0.001~0.038
		魚肉ハム・ソーセージ	3	0	
甘味料	サクカリンナトリウム (g/kg)	みそ・しょうゆ	10	0	
		ジャム	5	0	
		菓子	5	0	
	アセスルファムカリウム (g/kg)	みそ・しょうゆ	10	0	
		ジャム	5	0	
	菓子	5	0		
	アスバルテーム (g/kg)	みそ・しょうゆ	10	0	
ジャム		5	0		
菓子	5	0			
ズルチン (g/kg)	みそ・しょうゆ	10	0		
	ジャム	5	0		
	菓子	5	0		
防かび剤	イマザリル (g/kg)	レモン	5	4	0.0011~0.0027
		グレープフルーツ	5	5	0.0006~0.0012
		オレンジ類	5	5	0.0011~0.0018
		バナナ	5	0	
	チアベンダゾール (g/kg)	レモン	5	2	0.0003, 0.0013
		グレープフルーツ	5	4	0.0005~0.0029
		オレンジ類	5	5	0.0003~0.0013
		バナナ	5	0	
	オルトフェニルフェノール (g/kg)	レモン	5	0	
		グレープフルーツ	5	0	
		オレンジ類	5	0	
	バナナ	5	0		
	ジフェニル (g/kg)	レモン	5	0	
		グレープフルーツ	5	0	
オレンジ類		5	0		
バナナ		5	0		
フルジオキシニル (g/kg)	レモン	5	4	0.0014~0.0025	
	グレープフルーツ	5	0		
	オレンジ類	5	3	0.0005~0.0008	
	バナナ	5	0		
アノキシストロピン (g/kg)	レモン	5	3	0.0007~0.0009	
	グレープフルーツ	5	0		
	オレンジ類	5	0		
	バナナ	5	0		
ピリメタニル (g/kg)	レモン	5	0		
	グレープフルーツ	5	0		
	オレンジ類	5	4	0.0008~0.0025	
	バナナ	5	0		
酸化防止剤	BHA, BHT, PG, OG, DG, TBHQ, NDGA, HMBP (各g/kg)	魚介乾製品	10	0	
		油脂・バター	10	0	
着色料	食用赤色2号, 食用赤色3号, 食用赤色40号, 食用赤色102号, 食用赤色104号, 食用赤色105号, 食用赤色106号, 食用黄色4号, 食用黄色5号, 食用緑色3号, 食用青色1号, 食用青色2号, アジット`レット`1, アジット`レット`13, アジット`レット`26, アゾ`ルビ`ン, アジット`レット`87, ホ`ンゾ`6R, ホ`ンゾ`SX, キシレンファステイロ`2G, オレンジ`G, α`ナフト`ル`オレンジ`, ナフト`ル`イエロー`S, アジット`オレンジ`7, アジット`グリーン`9, アジット`ブルー`1, アジット`ブルー`3ナトリウム, アジット`ブラック`1	菓子	10	0	食用黄色4号(3検体)、食用赤色3号(1検体)
		漬物	10	4	

iii) 発色剤（亜硝酸根）

食肉製品 7 検体，魚肉ハム・ソーセージ 3 検体について，亜硝酸根の定量試験を行った。

その結果，食肉製品 6 検体から亜硝酸根（0.001～0.038 g/kg）を検出したが，いずれも使用基準値以下であり，魚肉ハム・ソーセージはすべて定量下限値未満であった。

iv) 甘味料（サッカリンナトリウム，アセスルファムカリウム，アスパルテーム，ズルチン）

みそ 5 検体，しょうゆ 5 検体，ジャム 5 検体および菓子 5 検体合計 20 検体について，延べ 80 項目の定量試験を行った。

その結果，すべて定量下限値未満であった。

v) 防かび剤（イマザリル，チアベンダゾール，オルトフェニルフェノール，ジフェニル，フルジオキシソニル，アゾキシストロビン，ピリメタニル）

レモン 5 検体，グレープフルーツ 5 検体，オレンジ類 5 検体およびバナナ 5 検体合計 20 検体について，延べ 140 項目の定量試験を行った。

その結果，レモン 4 検体，グレープフルーツ 5 検体，オレンジ類 5 検体からイマザリル（0.0006～0.0027 g/kg）を，レモン 2 検体，グレープフルーツ 4 検体，オレンジ類 5 検体からチアベンダゾール（0.0003～0.0029 g/kg）を，レモン 4 検体，オレンジ類 3 検体からフルジオキシソニル（0.0005～0.0025 g/kg）を，レモン 3 検体からアゾキシストロビン（0.0007～0.0009 g/kg）を，オレンジ類 4 検体からピリメタニル（0.0008～0.0025 g/kg）を検出したが，いずれも使用基準値以下であり，他はすべて定量下限値未満であった。

vi) 酸化防止剤（ブチルヒドロキシアニソール(BHA)，ジブチルヒドロキシトルエン(BHT)，没食子酸プロピル(PG)，没食子酸オクチル(OG)，没食子酸ラウリル(DG)，tert-ブチルヒドロキノン(TBHQ)，ノルジヒドログアヤレチック酸(NDGA)，4-ヒドロキシメチル-2,6-ジ-tert-ブチルフェノール(HMBP))

魚介乾製品，油脂・バター各 10 検体合計 20 検体について，延べ 160 項目の定量試験を行った。

その結果，すべて定量下限値未満であった。

vii) 着色料（食用赤色 2 号，同 3 号，同 40 号，同 102 号，同 104 号，同 105 号，同 106 号，食用黄色 4 号，同 5 号，食用緑色 3 号，食用青色 1 号，同 2 号，アシッドレッド 1，アシッドレッド 13，アシッドレッド 26，アズルビン，アシッドレッド 87，ボンソー 6 R，ボンソー S X，キシレンファストイエロー 2 G，オレンジ G， $\alpha$ -ナフトールオレンジ，ナフトールイエロー S，アシッドオレンジ 7，アシッドグリーン 9，アシッドブルー 1，アシッドブルー 3 ナトリウム，アシッドブラック 1）

漬物，菓子各 10 検体合計 20 検体について，延べ 560 項目の定性試験を行った。

その結果，漬物 3 検体から食用黄色 4 号を，漬物 1 検体から食用赤色 3 号を検出したが，使用基準に適合していた。その他の検体からはいずれの着色料も検出されなかった。

(b) 残留農薬検査

県内産農産物 88 検体，県外産農産物 10 検体，輸入農産物 20 検体合計 118 検体（表 2-3）について，307 項目の農薬成分（表 2-4）延べ 29,408 項目の試験を行った。

その結果、24成分（表2-5）延べ65項目の農薬を検出し、そのうち、ウメ1検体から残留基準値を超えたトルフェンピラド（0.04 ppm）を検出した。なお、他の農薬についてはすべて定量下限値未満であった。

表2-3. 残留農薬検査の農産物と検体数

農産物名	検体数	県内産	県外産	輸入品
ウメ（青梅）	12	12	0	0
トマト	7	5	2	0
モモ	12	12	0	0
ナス	8	8	0	0
レモン	5	0	0	5
グレープフルーツ	5	0	0	5
オレンジ類	5	0	0	5
バナナ	5	0	0	5
カキ	12	12	0	0
ハウレンソウ	7	5	2	0
サツマイモ	10	9	1	0
ミカン	10	10	0	0
ハクサイ	10	8	2	0
ダイコン（根）	10	7	3	0
計	118	88	10	20

表 2-4. 残留農薬検査項目

農薬名	農薬名	農薬名	農薬名
1 1-1-ジクロロ-2,2-ビス(4-エチルフェニル)エタン 1)2)3)4)5)	79 クロルピリホスメチル 1)3)4)5)6)	157 トリフルメロン 1)3)4)5)6)	235 フルトリアホール
2 2-(1-ナフチル)アセタミド 1)2)3)4)5)	80 クロルフェナピル 1)2)3)4)6)	158 トリフルラリン	236 フルフェノクスロン
3 BHC (γ) 6)	81 クロルフェンゾン	159 トリフロキシストロビン	237 フルフェンピルエチル 4)
4 DDT 4)5)	82 クロルフェンピホス 1)3)4)5)6)	160 トリフロキシスルフロン 2)3)4)5)6)	238 フルミオキサジン 1)5)6)
5 EPN 2)3)5)6)	83 クロルブファム	161 トルクロホスメチル	239 フルミクロラックベンチル 1)3)4)5)
6 EPTC 1)2)4)5)6)	84 クロルプロファム	162 トルフェンピラド	240 フルメツラム 2)3)4)5)6)
7 TCMTB 2)3)4)5)	85 クロルクスロン	163 ナブタラム 6)	241 フルリドン
8 XMC 1)2)4)5)	86 クロロネブ 1)2)3)4)6)	164 ナブアネリド	242 プレチラクロール
9 γ-BHC 5)	87 クロロベンジレート	165 ナブパミド	243 プロシモン
10 アザコナゾール 1)4)5)6)	88 シアノホス 1)3)4)6)	166 ニトタールイソプロピル	244 プロチオホス 1)2)3)4)
11 アザメチホス	89 ジウロン	167 ノバルロン 1)3)5)6)	245 プロバキサホップ 1)3)4)5)6)
12 アジメスルフロン 2)4)5)6)	90 ジェトフェンカルブ 1)2)3)4)6)	168 パクプロトラゾール	246 プロバジン 1)2)3)4)5)
13 アジンホスメチル	91 ジオキサチオン 1)3)6)	169 パラチオン	247 プロバニル
14 アセタミプリド	92 シクロエート 2)3)4)5)6)	170 パラチオンメチル	248 プロバホス 1)3)4)5)6)
15 アセフェート	93 ジクロスラム 2)3)4)6)	171 ハルフェンプロックス 2)3)4)5)	249 プロバキグット 1)3)4)5)6)
16 アゾキシストロビン 1)4)5)6)	94 シクロスルファミロン 3)4)5)	172 ハロキシホップ 5)6)	250 プロピコナゾール 1)4)5)6)
17 アトラジン	95 ジクロトホス	173 ハロスルフロンメチル 2)3)4)5)6)	251 プロピザミド 1)2)4)5)
18 アニロホス	96 ジクロフェンチオン	174 ピコリナフェン 1)2)4)5)6)	252 プロピドロジャスモン 1)6)
19 アメリン 2)4)5)6)	97 ジクロホップメチル 1)3)5)6)	175 ビテルタノール	253 プロフェノホス
20 アラクロール 1)2)3)4)5)	98 ジクロラン 1)2)4)5)6)	176 ビフェノックス 2)3)4)5)	254 プロボキスル
21 アレスリン 1)4)6)	99 ジスルホトン 1)	177 ビフェントリン 1)3)4)	255 プロマシル 1)4)5)6)
22 イオスルフロンメチル 2)5)6)	100 ニシロエチル 1)2)3)	178 ビベロニルトキンド 1)3)4)5)6)	256 プロモトリン 1)2)3)4)5)
23 イサゾホス 1)3)4)5)6)	101 シノスルフロン 2)3)4)5)6)	179 ビベロホス	257 プロモプロピレート
24 イソキサチオン	102 シハロトリン 3)	180 ピラクロストロビン	258 プロモホス
25 イソフェンホス	103 シロホップブチル	181 ピラクロホス	259 プロモホスエチル 1)2)3)
26 イソプロカルブ	104 ジフェナミド	182 ピラゾスルフロンエチル 2)3)4)5)6)	260 フロラスラム 2)3)4)5)6)
27 イソプロチオラン 1)2)3)4)6)	105 ジフェノコナゾール 1)3)4)6)	183 ピラゾホス	261 ヘキサコナゾール 1)2)3)4)6)
28 イプロバリカルブ	106 シフルトリン 3)	184 ピラゾリネート 1)2)3)4)5)	262 ヘキサジン
29 イプロベンホス	107 シフルフェナミド 1)3)4)5)6)	185 ピラフルフェンエチル 1)4)5)6)	263 ヘキサフルムロン 6)
30 イマザキン 3)4)6)	108 ジフルフェニカン 1)4)5)6)	186 ビリダフェンチオン	264 ヘキシチアゾール
31 イマザメタベンズメチルエステル 2)3)4)5)6)	109 ジフルベンズロン 1)2)4)5)6)	187 ビリダベン	265 ベナラキシル 1)2)3)4)5)
32 イマザリル 2)4)5)6)	110 シプロコナゾール	188 ビリフェノックス 1)3)4)6)	266 ベノキサコール
33 イミダクロプリド	111 シプロジニル 2)3)4)5)6)	189 ビリタリド	267 ベノキスラム 2)3)4)5)6)
34 インダノファン	112 シベルメトリン 3)4)6)	190 ビリプチカルブ 1)3)4)5)6)	268 ベルメトリン 1)3)4)6)
35 インドキサカルブ	113 シマジン	191 ビリプロキシフェン 1)3)4)5)6)	269 ベンコナゾール 1)3)4)5)6)
36 エスプロカルブ	114 シメコナゾール 2)3)4)5)6)	192 ビリカーブ 2)3)4)5)6)	270 ベンシクロン
37 エタメツルフロンメチル 2)3)4)5)6)	115 ジメタメトリン	193 ビリミジフェン 1)3)4)5)6)	271 ベンシルフロンメチル 2)3)4)5)6)
38 エタルフルラリン	116 ジメチリモール 2)3)5)6)	194 ビリミノバクメチル	272 ベンゾフェナップ
39 エチオフェンカルブ 2)3)4)5)6)	117 ジメチナミド	195 ビリホスメチル	273 ベンダイオカルブ
40 エチオン	118 ジメトモルフ 2)3)4)5)6)	196 ビリメタル 4)5)6)	274 ベンデメタリン
41 エディフェンホス	119 ジメビベレート 1)2)5)6)	197 ビンクロゾリン 1)2)4)5)6)	275 ベンララリン
42 エトキサゾール 2)4)5)6)	120 スピロジクロフェン 1)2)3)4)5)6)	198 フィブロニル 1)2)6)	276 ベンプレセート
43 エトキシスルフロン 5)	121 スルフェントラゾン 1)4)5)6)	199 フェナミホス	277 ホサロン
44 エトフェンプロックス 1)2)4)5)	122 スルホスルフロン 2)3)4)5)6)	200 フェナリモル 1)4)6)	278 ポスカリド 1)3)4)5)6)
45 エトプロホス	123 ダイアジン 1)3)4)5)6)	201 フェントロチオン 2)3)4)5)	279 ホスチアゼート 1)2)3)4)6)
46 エボキシコナゾール	124 ダイアレート	202 フェノキサニル 1)2)4)5)6)	280 ホメサフェン 4)5)6)
47 オキサジアゾン 1)2)4)5)6)	125 ダイムロン	203 フェメキシカルブ 1)2)3)5)6)	281 ホラムスルフロン 2)3)4)6)
48 オキサジクロメホン	126 チアクロプリド 1)3)4)5)6)	204 フェノチオカルブ	282 ホルクロフルフェニユロン
49 オキサミル	127 チアベンダゾール 2)5)6)	205 フェトリン 1)3)4)5)	283 ホレート 3)4)
50 オキシカルボキシ	128 チアメトキサム	206 フェノカルブ	284 マラチオン
51 オキシフルオルフェン	129 チオジカルブ及びメソミル 1)2)3)5)	207 フェンアミン	285 ミクロプタニル 1)3)4)5)6)
52 カズサホス 1)2)3)4)6)	130 チオベンカルブ	208 フェンクローホス	286 メカルバム 1)3)4)5)6)
53 カフェンストロール 1)4)6)	131 チオメトン 1)4)6)	209 フェンシルホチオン	287 メソスルフロンメチル 2)3)4)5)
54 カルバリル 1)2)3)4)6)	132 チジアズロン	210 フェントエート	288 メタベンズチアズロン
55 カルフェントラゾンエチル 1)2)4)5)6)	133 チフェンシルフロンメチル 2)4)5)6)	211 フェンピロキシメート	289 メタミドホス 2)3)4)5)6)
56 カルプロバミド	134 チフルザミド	212 フェンコナゾール	290 メチオカルブ 1)2)
57 カルボラン 4)5)6)	135 テクナゼン	213 フェンプロバトリン 1)2)3)4)	291 メチダチオン 4)5)
58 キナルホス	136 テトラクロルピホス	214 フェンプロピモルフ	292 メトキシクロール
59 キノキシフェン 1)2)4)5)6)	137 テトラコナゾール	215 フェンヘキサミド 1)3)4)6)	293 メトキシフェノジド 1)3)4)6)
60 キノクラミン 1)5)6)	138 テトラジロン 1)2)3)4)6)	216 フェンメディファム	294 メスラム 1)2)4)5)6)
61 キノメチオナート 3)	139 テニルクロール 1)2)3)4)6)	217 フサライド 1)2)4)5)	295 メスルフロンメチル 2)3)4)5)6)
62 キントゼン 1)2)3)4)5)	140 テブコナゾール 1)3)4)6)	218 プタクロール	296 メミノストロビン
63 クミロン 2)3)4)5)6)	141 テブチウロン	219 プタフェナシル	297 メトラクロール
64 クレソキシムメチル 1)2)4)5)6)	142 テブフェノジド	220 プタホス 1)2)3)5)6)	298 メフェナゼット
65 クロキントセツトメキシル	143 テブフェンピラド	221 プチレート	299 メフェンピルジエチル
66 クロジナホップ酸 6)	144 テフルトリン 1)3)4)5)6)	222 プビメート	300 メプロニル
67 クロチアジン 1)2)4)5)6)	145 テフルベンズロン 5)6)	223 ププロフェン 1)3)4)6)	301 モノクロトホス
68 クロフェンセツト 6)	146 テルトリン	224 フラザスルフロン 2)3)4)5)	302 モリニユロン
69 クロフェンテジン 1)	147 テルブホス	225 フラチオカルブ 4)5)	303 ラクトフェン
70 クロマゾン	148 トラルコキシジム 2)3)4)5)6)	226 フラムプロップメチル	304 リニユロン 1)3)4)5)6)
71 クロマフェノジド	149 トリアジメノール	227 フラメトビル	305 ルフェスロン 1)4)5)6)
72 クロメプロップ	150 トリアジメホン	228 フルアクリピリム	306 レスタトリン 3)4)5)
73 クロラクスラムメチル 3)4)6)	151 トリアスルフロン 2)4)5)6)	229 フルアジホップ 6)	307 レナンル
74 クロリダゾン	152 トリアゾホス	230 フルキノナゾール 3)	
75 クロロエトキシホス 1)2)4)5)6)	153 トリアレート	231 フルシトリネート 1)3)4)5)6)	
76 クロロスルフロン 2)4)5)	154 トリシクラゾール 1)2)3)4)5)	232 フルシラゾール	
77 クロルタールジメチル	155 トリチコナゾール	233 フルチアセツトメチル 1)	
78 クロルピリホス 1)3)4)6)	156 トリブホス	234 フルトラニル	

1)ウメ、トマトのみ  
4)カキ、ホウレンソウのみ

2)モモ、ナスのみ  
5)サツマイモ、ミカンのみ

3)レモン、グレープフルーツ、オレンジ類、バナナのみ  
6)ハクサイ、ダイコン(根)のみ

表2-5. 農産物検出結果

検出農薬	作物名	検体数	検出数	検出値 (ppm)
アセタミプリド	トマト	7	1	0.01
	モモ	12	4	0.02~0.25
	ナス	8	2	0.01, 0.13
	レモン	5	1	0.01
	カキ	12	1	0.02
イミダクロプリド	ナス	8	2	0.02, 0.05
	レモン	5	1	0.02
	ハウレンソウ	7	3	0.08~0.75
クレソキシムメチル	ウメ(青梅)	12	3	0.06~0.80
	カキ	12	1	0.04
クロチアニジン	モモ	12	1	0.02
	カキ	12	1	0.01
クロマフェノジド	ハウレンソウ	7	1	0.24
クロルピリホス	バナナ	5	2	0.01, 0.04
クロルフェナピル	バナナ	5	1	0.03
ジフェノコナゾール	ウメ(青梅)	12	7	0.01~0.09
シペルメトリン	グレープフルーツ	5	3	0.01~0.06
シルフェナミド	トマト	7	2	0.01, 0.02
チアメトキサム	ハクサイ	10	1	0.03
テブコナゾール	ウメ(青梅)	12	3	0.12~0.54
	カキ	12	1	0.02
テフルトリン	ハウレンソウ	7	1	0.01
トリフロキシストロビン	ウメ(青梅)	12	3	0.09~0.27
	グレープフルーツ	5	1	0.03
トルフェンピラド	ウメ(青梅)	12	1	0.04
ピラクロストロビン	グレープフルーツ	5	4	0.02~0.04
フェンブコナゾール	ウメ(青梅)	12	1	0.07
ブプロフェジン	ウメ(青梅)	12	2	0.02, 0.05
	レモン	5	1	0.05
フルフェノクスロン	ハウレンソウ	7	3	0.35~0.78
プロシミドン	トマト	7	1	0.03
ヘキシチアゾクス	ウメ(青梅)	12	1	0.08
ペルメトリン	ハウレンソウ	7	1	0.01
ボスカリド	トマト	7	1	0.41
メタミドホス	カキ	12	1	0.02
	ダイコン(根)	10	1	0.03

(c) 残留動物用医薬品検査 (エトパペート, オキシロニック酸, オルビフロキサシン, オルメトプリム, キシラジン, スルファキノキサリン, スルファクロルピリダジン, スルファジアジン, スルファジミジン, スルファジメトキシシン, スルファセタミド, スルファチアゾール, スルファドキシシン, スルファピリジン, スルファベンズアミド, スルファメトキサゾール, スルファメトキシピリダジン, スルファメラジン, スルファモノメトキシシン, スルフィソゾール, チアムリン, トリメトプリム, ナリジクス酸, ピリメタミン, ピロミド酸, ファムフル, フルメキン, ミロサマイシン, レバミゾール)

県内産畜水産物 50 検体, 県外産畜水産物 36 検体, 輸入畜水産物 24 検体合計 110 検体 (表2-6) について, モニタリング検査として延べ3,130項目の定量試験を行った。

その結果, いずれの項目も定量下限値未満であった。

表 2-6. 動物用医薬品検査

畜水産物名	検体数	県内産	県外産	輸入品
養殖魚介類 〔マダイ, アユ, ブリ, ヒラメ〕 〔シマアジ, カンパチ, エビ, 銀鮭〕 〔アマゴ, マグロ, サーモン〕	45	23	13	9
牛肉	15	1	6	8
豚肉	5		3	2
鶏肉	25	9	14	2
鶏卵	20	17		3
計	110	50	36	24

## (d) 有害物質検査

鯨類および大型魚介類 10 検体について、メチル水銀の定量試験を行った（表 2-7）。

その結果、8 検体からメチル水銀（0.23～2.4 mg/kg）を検出した。

表 2-7. 有害物質検査

項目名	品名	検体数	検出数	検出値
メチル水銀	鯨類(イルカ 腹肉)	2	2	0.62, 0.93 mg/kg
	鯨類(ミンククジラ 赤肉)	1	1	0.23 mg/kg
	鯨類(ニタリクジラ)	1	1	0.23 mg/kg
	鯨類(ザトウクジラ)	1	0	
	鯨類(ナガスクジラ)	1	0	
	鯨類(ゴンドウクジラ)	2	2	2.0, 2.4 mg/kg
	大型魚介類(マグロ類)	2	2	0.28, 0.44 mg/kg
	計	10	8	

## (e) おもちゃ検査

乳幼児用おもちゃ 10 検体（14 部位）のうち、ポリ塩化ビニルを主体とする材料を用いて製造された部分 5 検体（5 部位）について重金属（鉛の量として）およびカドミウムの溶出試験を、塗膜 5 検体（9 部位）について鉛およびカドミウムの溶出試験を行った（表 2-8）。

その結果、すべて規格基準に適合していた。

表 2-8. おもちゃ検査

項目名	品名	検体数	検体部位	試験部位	結果
重金属(鉛の量として) カドミウム	玩具	5	5	ポリ塩化ビニル	適合
鉛 カドミウム	木製玩具	2	6	塗膜	適合
	玩具	3	3		適合
	計	10	14		

## b) 家庭用品等検査

乳幼児用衣類 10 検体（17 部位）について、遊離残留ホルムアルデヒドの検査を行った（表 2-9）。

その結果、すべての検体が家庭用品の基準に適合していた。

表 2-9. 家庭用品等検査

項目名	品名	検体数	検体部位	結果
ホルムアルデヒド	カバーオール	1	1	適合
	寝衣	1	2	適合
	肌着	3	6	適合
	スタイ	2	4	適合
	靴下	2	3	適合
	ミトン	1	1	適合
	計	10	17	

c) 飲用水試験（一般細菌と大腸菌を除く。）

災害時における井戸水活用のための基礎資料を得るため、井戸水 28 検体について飲用水試験（亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、全有機炭素、pH、味、臭気、色度、濁度）を行った。

その結果、5 検体が水道法に基づく水質基準に不適合であった。

d) 医薬品等検査

医薬品等一斉監視指導に伴う検査として、医薬品 1 検体について、グリチルリチン酸（定量試験）、ペオニフロリン（定量試験）およびアセトアミノフェン（定量試験）の検査を行った。

その結果、規格基準に適合していた。

(2) 受託研究（表 2-10）

a) 生薬および生薬を原料とした製剤の放射線量の検討

生薬および生薬を原料とした製剤の品質管理向上をめざす目的で、国内産生薬およびその生薬を原料とした製剤 20 検体について、放射性ヨウ素 (I131) と放射性セシウム (Cs 134, Cs 137) 延べ 60 項目の測定を行った。

b) ジャバラの残留農薬調査

ジャバラの安全性向上をめざす目的で、ジャバラ果実 19 検体について、残留農薬 200 成分延べ 3,800 項目の分析を行った。

表 2-10. 受託研究

検体	内容	検体数	延検査数
生薬・生薬を原料とした製剤	放射性ヨウ素 (I131)	20	60
	放射性セシウム (Cs134, Cs137)		
ジャバラ	残留農薬	19	3,800
	計	39	3,860

(3) 共同研究

国立医薬品食品研究所（研究代表者 堤 智昭）が中心となり実施する厚生労働科学研究費補助金（食

の安全確保推進研究事業) による研究課題「食品を介したダイオキシン等有害物質摂取量の評価とその手法開発に関する研究」に協力機関として参加し、14 食品群の分析用試料調製を行った。

#### (4) 外部精度管理調査 (表 2-11)

##### a) 食品関係

(一財) 食品薬品安全センターが実施する外部精度管理調査に参加し、食品添加物 (果実ペースト中のソルビン酸の定量)、残留動物用医薬品 (鶏肉 (むね) ペースト中のスルファジミジンの定量) および残留農薬 (とうもろこしペースト中のアトラジン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェントエート、フルトラニルおよびマラチオンの 6 種農薬中 3 種農薬の定性と定量) の試験について精度管理を実施したところ、結果はすべて良好であった。

また、令和 4 年度近畿支部疫学情報部会の健康危機管理事業 (精度管理事業) に参加し、カレー中のリコリンの定量試験について精度管理を実施した。

##### b) 医薬品関係

厚生労働省が実施する外部精度管理調査に参加し、カルベジロール錠の定量および純度試験について精度管理を実施した。

表 2-11. 外部精度管理調査

調査内容	検体数	項目数
食品添加物検査 (果実ペースト中のソルビン酸の定量)	1	1
残留動物用医薬品検査 (鶏肉 (むね) ペースト中のスルファジミジンの定量)	1	1
残留農薬検査 (とうもろこしペースト中のアトラジン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェントエート、フルトラニルおよびマラチオンの 6 種農薬中 3 種農薬の定性と定量)	1	6
自然毒試験 (カレー中のリコリンの定量)	1	1
医薬品検査 (カルベジロール錠の定量および純度試験)	1	2
計	5	11